



こそだて通信

かしのき保育園 2010年度 No.2

==向き合うこと==

以前、あるお母さんからこんなおはなしを伺いました。

毎日しなきゃいけないことばかりで、ついイライラして子どもを怒ってしまうんです。これじゃいけないと思っていても、気がつくとな怒ってばかりで、娘にこういわれてしまいました。

「私は怒らないお母さんになる。」

お母さんのつらい心情が伝わってきます。

日々の生活を平穏な気持ちで過ごせればいいですが、なかなかそうもいきません。精一杯、子どものためにと頑張っているからこそ、イライラもするし、怒ってしまうものなのでしょうから、それはしょうがないことです。ほんとうに毎日おつかれさまです。

忙しい毎日が急に楽になったりはしないでしょうけれど、もし、ちょっとひと息立ち止まって、「なあに？」とお子さんの顔を見つめることができたなら、きっとお母さんとお子さんの心の中にホッとした空気が流れるのではないのでしょうか。一日に一回でも、二日に一回でも、積もり積もればその瞬間こそが、お子さんにとってかけがえのない時間になるのではないかと思います。

子どもは、話したいことを聴いてくれることがとても嬉しいものです。自分が何を体験して、どうなったのか、話の中にはお子さんのいろいろな思いが詰まっています。その『思い』をお母さんが言葉にして返してあげるだけで、子どもは「聞いてくれた」という実感をより確かに持つことができます。

「今日のおやつ、ケーキだったんだよ」

『そうなんだ。おいしかった？よかったね』

「ぼくはこうしたかったんだけど、できなかったんだよ」

『そっか、残念だったね、悔しいね』

お子さんとの言葉のやりとり、気持ちのやりとりを通じて、あたたかに笑いあえるといいなと思います。

(担当 藤井あづさ)